

## 6. イスラムを生み出した風土 (2) 地理的な立地

- 1. 中東の地域的特性
- 2. 三大陸の結節点
- 3. 都市はイスラム世界文化のエッセンス

# 1. 中東の地域的特性

ガマール・ヒムダーン(1928-93)

エジプト社会論(『エジプトの個性』) 4vols, Cairo, 1980-84

地域的特性(「地域の個性」)を刻印する二つの要素 「立地」と「位置」

- 「立地」(マウディウ): 地域固有の特徴をつくりだす、規模・資源をもった環境

触れることのできる内部的土着的な特殊性

⇒ 水の希少性

- 「位置」(マウキウ): 土地、人口、生産の分布との関係によって、また外部との諸関係に規制された、地域の相対的な特徴

直接見ることのできない幾何学的な思想

⇒ 三大陸の結節点という地政学的な重要性

# 生態系を基本とした地域類型

cf. 高谷好一『多文明世界の構図』中公新書、1997

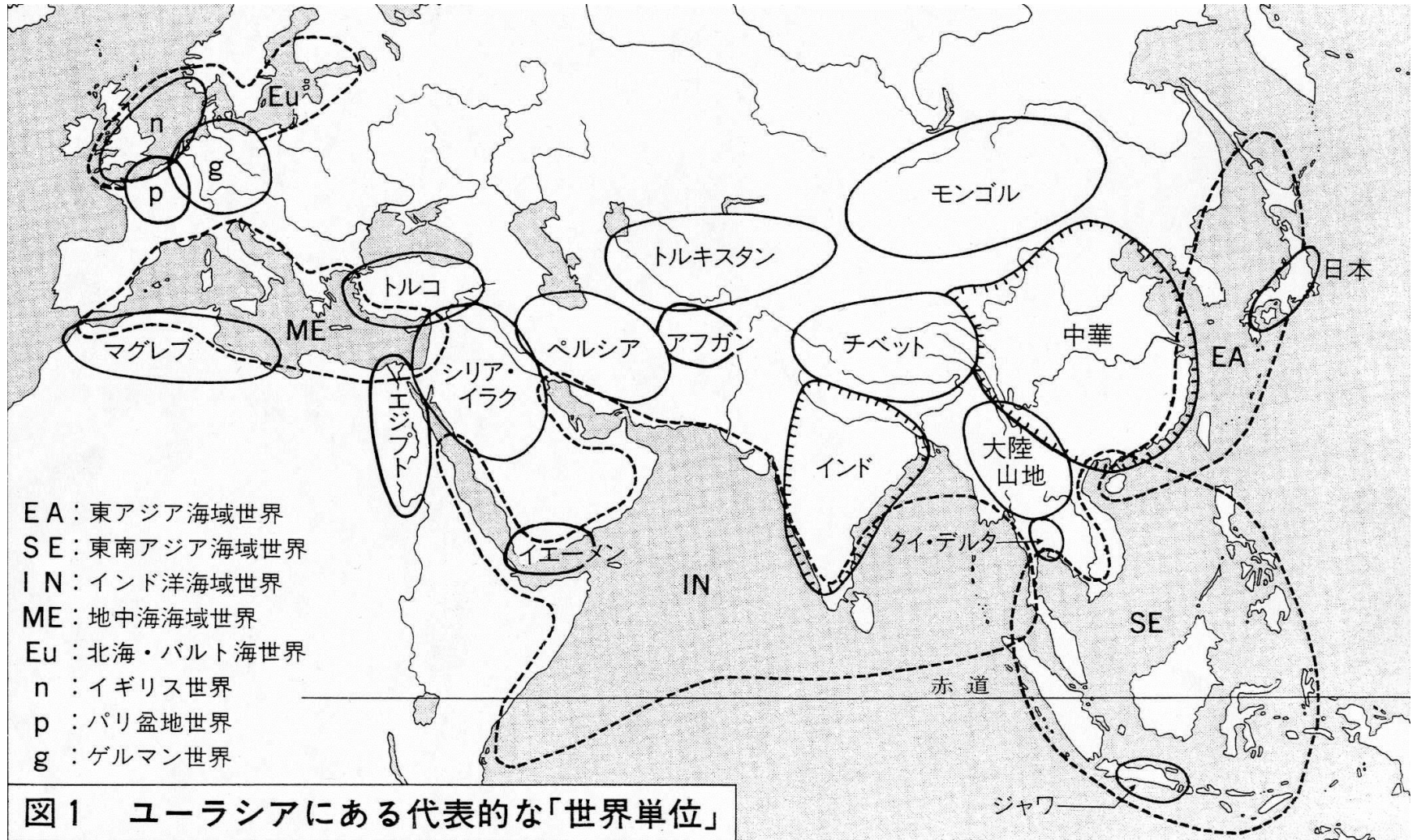
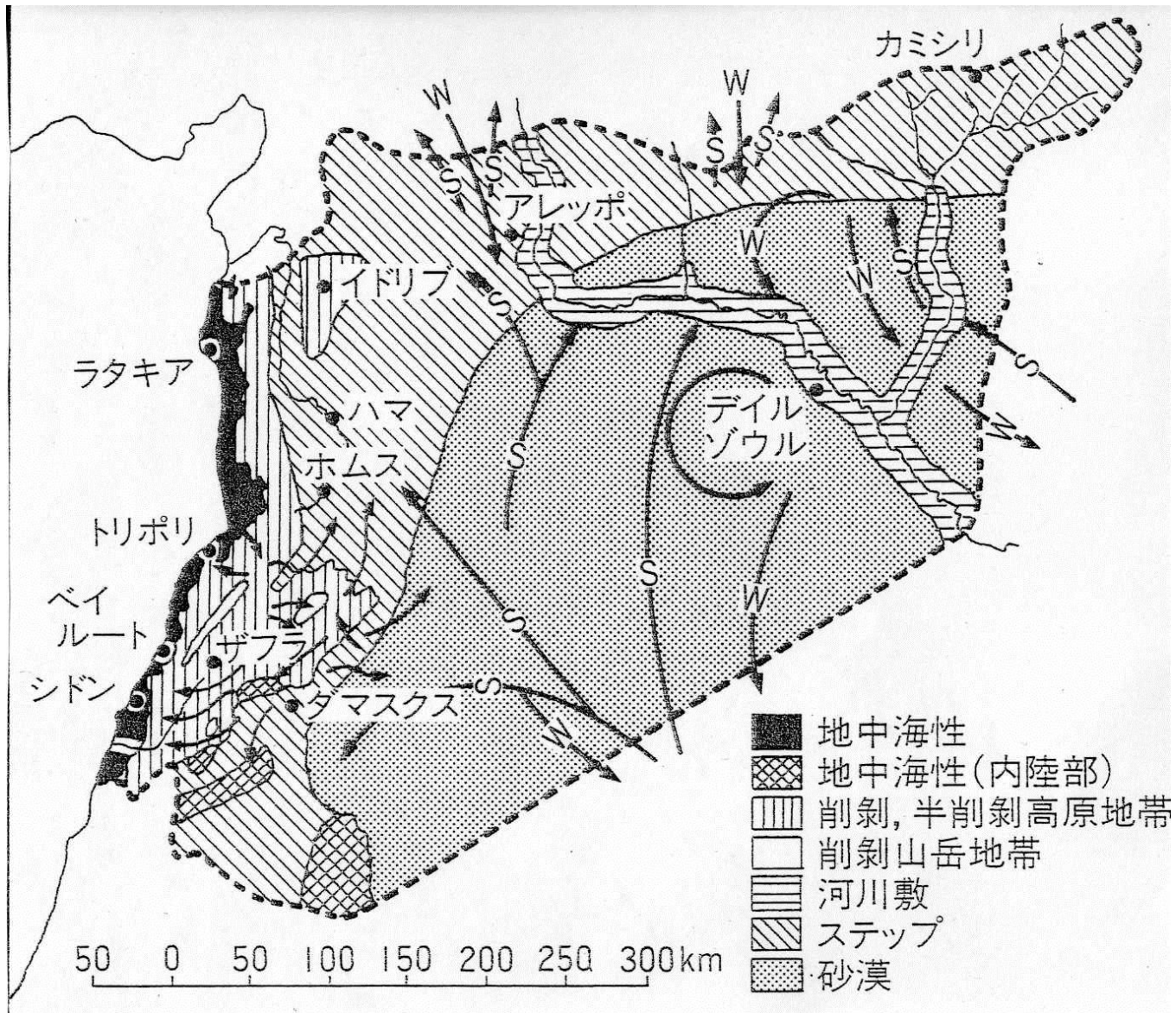


図1 ユーラシアにある代表的な「世界単位」



# 牧畜・遊牧業の重要な役割

## シリアの植生と遊牧民の移動経路(市場圏)

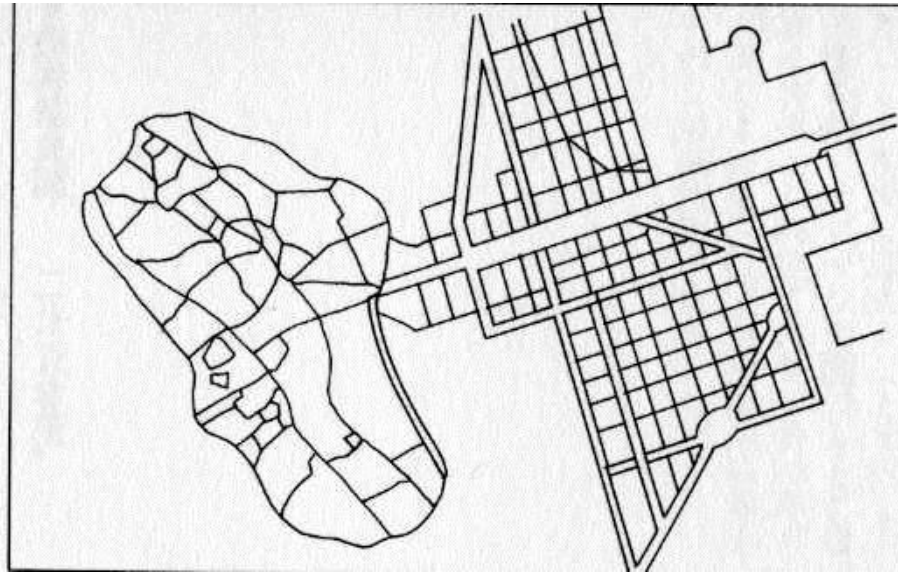




### 3. 都市はイスラム世界文化のエッセンス イスラム都市の過去・現在 旧市街と新市街

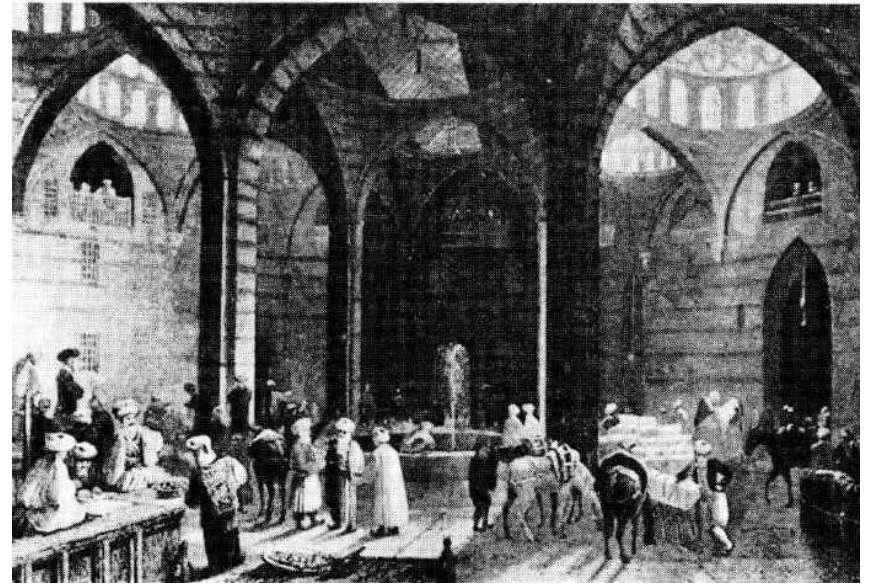
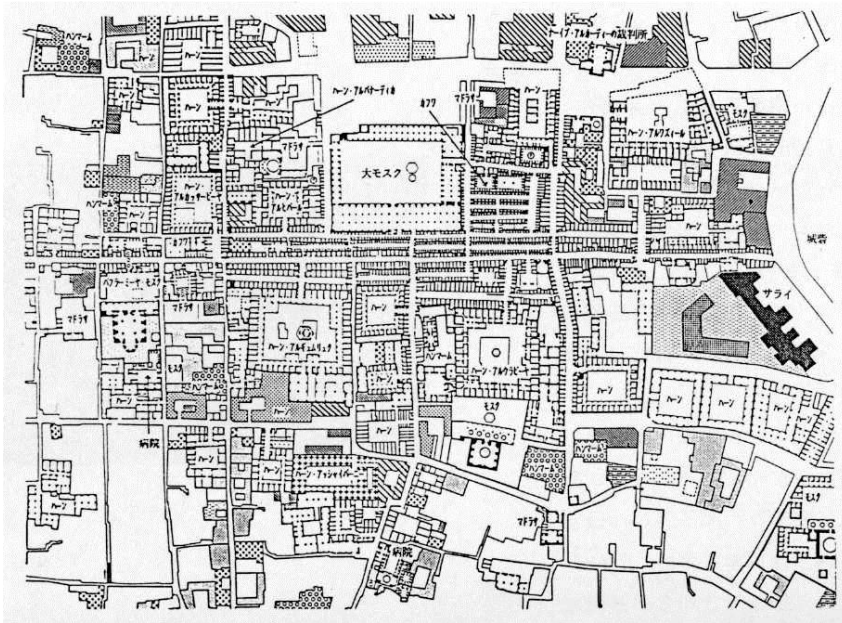
チュニスの町並み 整然と都市計画によって建設された新市街の景観は、迷路を特徴とする旧市街の景観と対照的である。

チュニスの航空写真

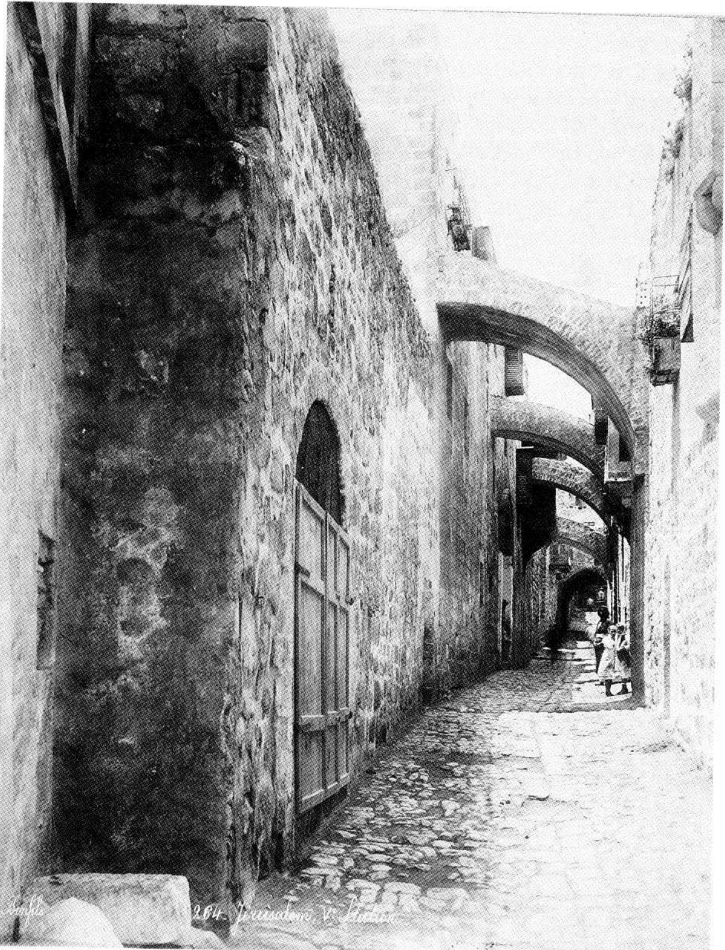


# マディーナ

## アレppoの「市」(マディーナ)付近



# 街区(ハーラ)とハンマーム(共同浴場)





(左)エルサレム古地図(12世紀の稿本より)  
 (右)エルサレム旧市街

